

愛媛大学大学院連合農学研究科設立 30 周年記念式典 祝辞



長尾省吾 香川大学長

このたび愛媛大学大学院連合農学研究科が設立三十周年を迎えられ、本日ここに記念式典が盛大に開催されますことを、愛媛大学大橋学長をはじめ連合農学研究科の関係者の皆様に、心よりお慶びを申し上げます。今日まで、研究者あるいは技術者として学術および産業界で活躍されています優秀な人材を輩出してこられた各位のご尽力に、深く敬意を表します。構成大学であります香川大学にとりましても誠に喜ばしく、誇らしく思う次第であります。

現在では、特に法人化後、国内外・大学間あるいは部局間による教育・研究分野の連携や組織構築は大きな流れですが、三十年も前に三大学で構成される連合農学研究科の発足・運営には、関係者の皆様の並々ならぬご苦勞があったものと拝察いたします。

今日までの関係者各位の継続した熱意とご努力によって、連合農学研究科の教育研究活動も、飛躍的な進展を遂げられました。本日お越しの修了生の皆様方をはじめ、海外から受け入れた数多くの留学生は、帰国後、母国の大学や政府機関、企業で要職に就かれ、また日本人修了生も教育研究や産業界の第一線で活躍しておられ、その実績には目を見張るものがあります。

さらに、愛媛、高知、香川の三つの農学部・研究科は、連合農学研究科の教育研究と運営・連携において培われた絆を活かして、「SUIJI」、「AAP」、「農学教育」等のコンソーシアムを立ち上げ、時代を先取りした連携プログラムを展開していることも、この三十年間の歴史の中で大きな成果と考えます。

さて、昨今の社会情勢の変化はめまぐるしく、それに伴い社会の要請も大きく変化しつつあります。食料の生産や供給、持続的な資源利用や環境の保全など私たちの生活に密着する農学分野の課題は山積しており、高度な研究と人材養成を担う連合農学研究科への期待は、益々大きなものとなりつつあります。

連合農学研究科の構成大学がそれぞれの特色・強みを活かしつつ、相互に協力・補完しながら、これからも時代をリードする新たな挑戦を続けられることを切に望んでおります。

設立三十周年を一つの節目として、先人の功績を踏まえ、今後更なる飛躍・発展を遂げられますよう祈念しまして、祝辞といたします。

平成 27 年 10 月 31 日
香川大学長 長尾 省吾